

千葉県感染症発生動向調査情報

2022年 第29週 (7/18-7/24) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		29週	28週	27週	26週
上段: 患者数	小児科	18	15	18	18
下段: 定点当たりの患者数	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	25	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数

定点	感染症名	千葉県					千葉県
		注意報	7/18-7/24	7/11-7/17	7/4-7/10	6/27-7/3	7/11-7/17
			29週	28週	27週	26週	28週
小児科	RSウイルス感染症	○	22 1.22	12 0.80	39 2.17	23 1.28	141 1.13
	咽頭結膜熱		1 0.06	1 0.07	2 0.11	3 0.17	20 0.16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1 0.06	8 0.53	7 0.39	11 0.61	107 0.86
	感染性胃腸炎	↓	58 3.22	87 5.80	109 6.06	82 4.56	472 3.78
	水痘		0 0.00	1 0.07	0 0.00	1 0.06	9 0.07
	手足口病	★★○	115 6.39	92 6.13	81 4.50	29 1.61	847 6.78
	伝染性紅斑		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.06	1 0.01
	突発性発しん		9 0.50	8 0.53	7 0.39	15 0.83	40 0.32
	ヘルパンギーナ		8 0.44	2 0.13	6 0.33	1 0.06	175 1.40
	流行性耳下腺炎		0 0.00	0 0.00	1 0.06	1 0.06	7 0.06
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.00
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		1 0.20	0 0.00	0 0.00	3 0.60	4 0.13
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ○:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患: 9,974 例 ※ 新型コロナウイルス感染症9,970例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	病原体の分離・同定等	梅毒	女性	10歳代	血清抗体の検出
腸管出血性大腸菌感染症	男性	10歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認	梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出
				新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代-100歳代	病原体遺伝子の検出等

・第29週は、結核1例(83)、腸管出血性大腸菌感染症1例(10)、梅毒2例(20)、新型コロナウイルス感染症9,970例(79,582)の発生届があった。

※ ()内は2022年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第29週のコメント

<RSウイルス感染症>

前週より増加し1.22となった。過去10年の同時期と比べると多い。1歳で最多。区別の発生状況は、緑区(4.00)で最多で、同区では0-5か月から5歳まで全ての年齢群で発生報告があり、1歳で最も多く発生報告があった。

<感染性胃腸炎>

前週より減少し3.22となった。過去10年の同時期と比べると少なめ。1歳で最多。区別の発生状況は若葉区(7.50)で最多で、同区の1歳及び2歳で最も多く発生報告があった。

<手足口病>

前週より増加し6.39となった。流行発生警報開始基準値(5.00。以下「警報レベル」という)を上回ったままで、過去10年の同時期と比べると多め。1歳で最多。区別の発生状況は、稲毛区(17.30)で最多。他に若葉区(5.50)で警報レベルを上回っており、花見川区(5.00)で警報レベルと並んだ。また、中央区(4.00)及び美浜区(3.00)では警報レベルを下回ったが、流行発生警報終息基準値(2.00)を上回っている。中央区、稲毛区及び若葉区では1歳、花見川区では3歳、美浜区では2歳で最も多く発生報告があった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf